市P連おおた

題字：太田市Ｐ連会長 山本尚史

第29号
★発　行　所：太田市PTA連合会
★発行責任者：山本　尚史
★編集担当：太田市Ｐ連中央ブロック
西中学校、太田小学校、鳥之郷小学校
北中学校、太田東小学校、韮川西小学校
城西中学校、城西小学校、宝泉東小学校
★印　刷　所：株式会社アド・レーベン

『思いやりと感謝の心が満ち溢れる明日へ』

太田市ＰＴＡ連合会会長
太田市立尾島中学校ＰＴＡ会長
山本　尚史

令和二年度、太田市ＰＴＡ連合会会長を仰せつかりました山本尚史と申します。大役の就任に際し新役員を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

今年度は就任早々新型コロナウイルス感染症の影響により太田市ＰＴＡ連合会の活動は元より各学校単位での活動もままならない状況となっております。ましてや一番大変な思いをしているのは子ども達ではないでしょうか。春先の新学期より休校や部活動の中止で我慢のしどうしで不自由な毎日の繰り返しの日々が続いてまいりました。その中で親として、ＰＴＡとして何が出来るか、何をしてあげられるかを考え取り組んで行きたいと考えております。

太田市ＰＴＡ連合会の今年度のテーマは『思いやりと感謝の心が満ち溢れる明日へ』～今、何を伝えるべきか～とさせていただきました。

このテーマに沿って本部役員と一丸となって諸問題を解決すべく努力を重ねております。

本来であればこの広報紙の作成も第一回目の発行が五～六月に完成している所でありますが、今年度に関しては年末近くに発行がずれ込んでしまい就任の挨拶が最後の言葉になってしまう状況かもしれませんが、新型コロナウイルス感染症に負けず、一日も早く感染が終息し平穏な時が過ごせる時期が来る事を願いつつ残された任期満了まで、与えられた職務に邁進してまいります。

大変微力ではございますが、今年度の最後まで何卒よろしくお願い申し上げます。また、会員の皆様におかれましては、今後とも各学校単位でのご活躍をお願いし就任の挨拶と代えさせていただきます。

『今こそ偏見や差別を生まない教育を』

太田市教育委員会教育長
恩田由之

「皆さんおはようございます。誰もがコロナに感染します。だからこそ、陽性者を絶対に責めない学校づくりをしていきましょう。」と校長会で伝えました。

改めまして、令和二年六月一日付けで教育長に就任いたしました恩田由之です。前任の澁澤啓史教育長をはじめ、歴代の諸先輩方が築いてきた本市教育行政に携わることになり、その責任の重みに身の引き締まる思いであります。

児童生徒、保護者、ＰＴＡ会長・役員の皆様方には、このコロナ禍で、本市教育委員会の施策・対応にご理解、ご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。

さて、国の緊急事態宣言が六月に解除され学校が息を吹き返し、子ども達の笑顔がもどってから早数か月が経ちました。数人の陽性者が出ましたが、クラスターにならず安全が保たれているのは、保護者、地域、医療関係者の皆様の子ども達への心のケアと感染予防への努力の賜物と心より感謝申し上げます。

現在、学校では学力の保障と夢の実現を図るべく全力で授業や諸行事に取り組んでいます。学校の新しい生活様式により、制約や縮小が余儀なくされる中でも「最小でも最大の効果」を合言葉に知・徳・体の教育を進めてきています。

上手とは言えませんが、私は野球をやっていました。一球入魂という言葉があるように、先生方は一人一人に心を込めて命の大切さを伝え、予防力を高め、安全な学校づくりに全力投球してくれています。

市教委におきましても校長、副校長、教頭先生方とＰＣＲ検査の結果を家庭や保健所と密に連絡を取り合い、感染を拡大させないようバックアップさせていただいております。私たちの使命は、いかに現場に寄り添い、フォローし、安全・安心を確保できるかであります。

今こそ「偏見や差別を生まない教育」を実現し、豊かな心や仲間を大切にする心を育む時であります。多様化し、変化する社会の中において、誹謗・中傷の嵐が吹き荒れる前に、心を一つにしてこの長期戦を勝ち抜いていきましょう。

ご家庭でもコロナによる差別の問題を折に触れ話題にしていただき、仲間や他者の人権を尊重する心を育んでいただきますようお願い申し上げます。家庭、地域、学校が一直線になり予防力を高め、正しい情報の下、子ども達を守っていきましょう。「家族団らん、地域の見守り、知・徳・体の学校教育」の三つが重なり合うことで、コロナに打ち勝つ太田っ子を生み出すものと信じています。市内小中高校全四十四校オール太田スクールで一丸となって取り組んで参りたいと考えます。

各学校では、児童会・生徒会が中心となって、「いじめ防止プロジェクト」を実施しております。子ども達が作成したいじめ防止スローガンにこのような言葉が書かれています。「こんな時こそ、心を通じ合わせ仲間を大切にしよう（小学校）」「広げよう体の距離、縮めよう心の距離（中学校）」。まさにこの言葉のように全校で人権尊重の意識の高揚を図り、人に優しい、偏見や差別を生まない教育を実現して参りたいと思います。最後に太田市ＰＴＡ連合会の益々の発展をご祈念申し上げ就任のあいさつといたします。

『親子で育てよう豊かな心』

太田市ＰＴＡ連合会母親委員長
町田絵美

この度、母親委員長を務めさせていただく事になりました町田絵美と申します。

母親委員長の役は初めてなので不安な面もありますが、皆様方と一緒に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

今年度は、異例の形での新年度スタート、その中での委員会活動、役員引継ぎ、会議等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見送ることと致しました。本来であれば皆様の前でご挨拶させて頂くのですが、書面にて失礼いたします。

新型コロナウイルス感染症による活動制限という経験した事のない環境下で学校生活を送っている子ども達、この先まだまだ予測のできない年になるかと思います。様々な事業が通年と違う形で行われ、当たり前に行えない苦しさ、しかしながら他の県と比べれば、学校に通えて友達や先生と顔を合わせる事の出来る喜び、学業やクラブ活動が出来る事を幸せと思い、この経験を糧に子供たちが成長できるようにサポート出来ればと思います。

今年度の母親委員会のテーマは、『親子で育てよう豊かな心』～ゆとりある子育てをめざして～です。普段から子育て、家事、仕事を忙しくこなしている皆様方に少しでもひとりの時間を作っていただければと思い考えたテーマです。私も三人の子どもを持つ母親ですが、常に時間に追われ、一人の時間を作ることが難しいです。そのため、心の余裕がなく子どもの話をきちんと聞いてあげる事が出来ず、感情的にぶつけてしまうことが多くなっています。そのために、短い時間でありますが、同じ立場の皆様との子育ての情報交換、心のリフレッシュの時間にして明日への活力になれるお手伝いが出来たらと思います。

小学生、中学生の子どもを持つ親としましては、心身ともに健やかに育ってほしいというのが、共通の願いだと思います。そのためにも、ぜひ保護者の皆様のお知恵を拝借し、ご協力を仰ぎながら一歩ずつ活動して参りたいと考えております。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

公益社団法人日本ＰＴＡ全国協議会主催

三行詩市Ｐ連 代表作品

小学生の部　綿打小　１年　髙橋　輝

いつだってぼくと張り合おうとする妹。
時には　いらないと思うこともあるけれど
「トカゲのしっぽってね・・・・」
「すご～い!!!」
ぼくの知っていることいっぱい教えてあげよ。

中学生の部　強戸中　１年　齋藤知花

「いってらっしゃい」
やさしい父と母との声は
私の一日のエネルギー
いってきます！

一般の部　太田中　髙橋隆子

おいしいね　また作ってね
祖母から伝わる　レシピノート
今日も　一品　書きとめる
君に引き継ぐ　その日まで

令和二年度　第二回　母親委員会
「青空ヨガ」に参加して

母親委員会副委員長　寺山　美絵

第二回母親委員会は、親子ヨガを室内で予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、密を避けるために母親委員のみの参加にし、令和二年八月二十二日（土）に休泊スポーツ広場にて「青空ヨガ」を開催しました。

このような状況でありながらも二十七名とたくさんの方が参加していただきました。

講師には健康運動指導士の八ツ田麻実子先生をお迎えし、天気も良く、朝の七時三十分から青空の下、芝生の柔らかさを感じながら、約二時間ヨガを楽しみました。

先生の優しい声にも癒されながら心地よい中で青空ヨガをおこない、心も体もリフレッシュする事が出来ました。

皆様のご協力のもと無事開催出来た事、大変感謝しております。ありがとうございました。

令和二年度　第三回　母親委員会
「ワクわく子育てトーキング」に参加して

母親委員会副委員長　今井　典子

今年度の母親委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、異例の行事開催となりました。第一回目は書面にて、第二回は青空ヨガを行いました。第三回は、令和二年十月十七日(土)に尾島生涯学習センターの多目的ホールで三十五名の参加者のもと「ワクわく子育てトーキング」を開催しました。

今回も新型コロナウイルス感染症を予防するため、参加者全員にフェイスシールドを着けていただいての講演会となりました。今年度の演題は「子どものほめ方しかり方」「こんな時、どう言葉をかけますか」をテーマに、群馬県生涯学習センター社会教育主事の根岸直之先生を講師に迎え講演していただきました。

本題に入る前に脳トレーニングを行い、軽く緊張をほぐしてから本題へと入っていきました。今回はただ講演を聞くだけではなく先生の問いに対し、八グループに分かれさらに四人一組となり、グループごとに子どもと大人のパートに分かれてロールプレイングを行っていきました。日頃話せないことや、他の人の意見を聞いたりと、和気あいあいとした内容でした。

参加者からのテーマに対しての意見は

①時代
②子どもなりに考えている
③しかる前にひと呼吸
④成長の一つ

といった感想でした。

参加していただいた方々との意見、情報交換はとても貴重なものとなりました。新型コロナウイルス感染症への不安から子どもも親もストレスが溜まる一方ですが、少しだけ考え方を変え、親になれた喜び、子育てという親としての課題と向き合いながらも一日一日を子ども達と楽しく、幸せに、そして健康に生きていきたいと考えさせられた講演内容でした。

太田市PTA連合会
会員研修会

太田市PTA連合会副会長　木村　なみ江

今年度会員研修会は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、会員が会場に一堂に集まることはせず、本とDVDの配布による開催としました。

当時の太田市立生品小学校校長土屋修先生が代表となり、『希～光の中を歩んだ姉弟』が平成二十八年に創刊されました。姉の歩希ちゃんは小学校四年生の時、弟の光希くんは小学校二年生の時、二ヵ月の間に相次いで天国へ旅立ちました。この二人の姉弟が短い人生を精一杯生き抜いた姿が描かれています。

そして、この姉弟のご両親である大河原俊秋さん・恵子さんの講演をDVDに収録させていただきました。演題は「いのちの大切さ」～改めて考えてほしい「親子の互いを思う気持ち」～何気ない平凡な毎日がどれほどキラキラした時間なのか、二人の子どもを失ってから初めて気付き後悔されます。どうかその時間がいかに大切なものか忘れないで欲しいと、心から願われています。

親が子どもを大切に思うように、子どもも親を大切に思う。「人が人を想う気持ち」それを二人の子どもが教えてくれたことに感謝し、同時に世の中の人に伝えたいと大河原さんは呼びかけています。

是非、この本とDVDをご覧いただき、みなさん方も考えてほしいと思います。

「いのちの大切さ」～改めて考えてほしい「親子の互いを思う気持ち」～

※各校へ本は六冊、DVDは一枚ずつ配布します。

毎月第1日曜日は
おおた家庭の日
家族みんなで語り合い、楽しみあい、
協力しあって家庭のきずなを深め、
あたたかい家庭を育みましょう